

P-3 クロザートテクニックと
スプリント療法について

○数野邦行

かずの歯科小児歯科・大分市

近年、TMJの問題がクローズアップされて来た。それも只単なるTMJの問題としての顎頭位の問題だけでなく、下顎骨の位置異常としての気道の問題や、舌の位置異常、舌骨上下筋群と咀嚼筋の問題、口輪筋の問題など、数えあげたらきりが無い程である。

当院ではその様な問題をも含めて解消する手段として、クロザート法の矯正を中心として筋機能療法やスプリント法を多用している。

今回のパネルディスカッションで、その一端でも御披露出来たらと考えております。

P-4 小児の歯肉炎に対する検討

○春岡龍男

はるおか歯科・北九州市

最近の成人の歯科診療の中で、歯周疾患に対する治療が重要な位置を占めるようになり、小児の分野にも、臨床の場においても、小児の歯周疾患に対する関心は高まってきているように思える。

しかしながら、現在の臨床の現場においては成人と違い、重篤となり難い小児の歯肉炎の病態や、保険制度の不備とあいまって、小児の歯周治療が独立して行われることは少ないように思う。

演者の診療室でも小児の歯周治療のみを行った症例は少なく、他の小児歯科治療の一処置段階、あるいはモチベーションといったとらえ方をする場合が多い。しかしながら、治療中における局所的な歯肉炎について感ずるところも多い。

演者のまだ少ない臨床経験の中から、いくつかの小児の歯肉炎についてひろいあげ、考えてみたい。